

梶山女学園大学教育改革 2019

本学の個性や特色を活かし、学生等の多様なニーズに質の高い教育で応えていくため、本学では、学長のリーダーシップの下、2013年度から毎年「梶山女学園大学改革アクションプラン」を策定し、教育改革に取り組んでまいりました。

今年度も引き続き教育改革を推進すべく「梶山女学園大学改革アクションプラン2019」を策定いたしましたので、ここに概要を報告いたします。

中長期計画の策定・公表

2018年度に策定した「梶山女学園大学中長期計画 2020年4月～2030年3月」を、大学開学70周年を契機とし、学内外に積極的に発信します。

内部質保証体制の構築と実質化

全学及び各担当部署におけるPDCAサイクルを機能させ、2018年度の自己点検・評価で把握した問題点等の改善を組織的に推進します。

教育理念等の共有

自校史ならびに「梶山女学園大学憲章」を学生・教職員が共有し、教育理念「人間になろう」に基づく教育を実施します。

魅力ある学部・学科・専攻づくり

「入学者受入の方針（アドミSSION・ポリシー）」「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」「学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」の3つのポリシー策定のための全学的な基本方針を定め、魅力ある学部・学科・専攻づくりに向けた自己点検・評価の充実を図ります。

教員の資質向上

全学FD委員会を中心に、全教員を対象とした授業改善・アクティブラーニングの推進等に資する講演会や、授業等における情報機器の活用促進を目的とした講習会を実施するなど、全学的なFD活動を推進し、教員の継続的なスキルアップを図ります。

高大接続、社会連携、国際連携の強化

高大接続の強化を図るため、高校生を対象とした大学の授業体験プログラムを実施します。また、地域及び企業等とのさらなる連携強化を図るため、連携協定先を拡充するほか、「国際化ビジョン」に基づき、海外の留学協定校も拡充します。

在学生へのサポート体制の充実

学生が学習に専念し、安定した学生生活を送ることができるよう、学内関係部署が連携して入学時から経済面、学習面、メンタル・健康面における学生支援を実施します。また、学生に対する支援や学生間の交流を拡大するため、学生サポーターを中心に、新入生対象のサポート活動やピア交流イベントを実施します。

教養教育、キャリア教育、生涯学習等の充実

教養教育の点検、評価、分析を行い、本学ならではの魅力ある教養教育課程を展開します。また、一人ひとりに沿ったキャリア支援を充実させるため、キャリア支援プログラムと個別面談・個別指導の充実を図ります。

マネジメント体制の確立

大学の理念・目的、中長期計画等を実現するため、「大学の管理運営に関する全学的な方針」を策定します。また、役職者を外部研修会等に派遣することにより、リーダー層のリーダーシップ及び資質の向上を図ります。

教職員像の確立

本学の運営を効果的に行うため、全学的な「大学として求める教員像」及び「教員組織の編成方針」を策定した上で、各学部・各研究科における「教員組織の編成方針」を策定します。また、「2019年度嵯山女学園大学SD実施計画」に則り、SD活動を推進します。

教育環境の整備

学生の自主学修や教員の教育研究活動を支援するため、図書館の利用サービスの充実を図るほか、ネットワーク環境及び省エネ設備等の更新を実施します。

安定した財政基盤の整備

教育研究活動を安定して遂行するため、中・長期的な財政計画を策定します。